

製品安全データシート

作成 2007年10月29日
改訂 2009年12月03日

1. 製品及び会社情報

製品名 : Agarose XP
製品コード : 314-06511, 312-06512, 310-06513, 316-06515

会社名 : 株式会社ニッポンジーン
住所 : 富山県富山市問屋町 1-8-7
担当部門 : 研究試薬部 品質管理課
電話番号 : 076-451-6548
FAX 番号 : 076-451-6547

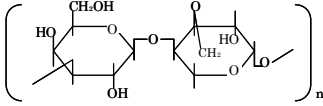
2. 危険有害性の要約

人の健康に対する有害な影響 : 目への繰り返し接触で、軽い炎症を生じることがある。
環境への影響 : データなし。
物理的及び化学的危険性 : 通常の取扱いでは危険性は低い。
GHS 分類 : 分類できない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : アガロース
polysaccharide
(1,3-linked β-D-galactopyranose, 1,4-linked 3,6-anhydro-α-L-galactopyranose)

化学式又は構造式



CAS 番号 : 9012-36-6
官報公示整理番号 : 特定されていない。
危険有害成分 : 特になし。

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合 : 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水

火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。

特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。

消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際には適切な保護具を着用する。こぼれた場所は滑りやすいため注意する。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和	: 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	: 取扱いは換気のよい場所で行う。 みだりに粉塵が発生しないように取扱う。 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 使用後は容器を密閉する。 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。
保管	
適切な保管条件	: 容器は直射日光を避け、乾燥した場所に貯蔵し、密閉して空気との接触を避ける。
技術的対策	: 湿度と水から保護する。
混触禁止物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
安全な容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
管理濃度 作業環境評価基準	: 設定されていない。
許容濃度 ACGIH (TLV)	: 設定されていない。
日本産業衛生学会	: 設定されていない。
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

形状、色	: 乳白色粉末
臭い	: 無臭
pH	: データなし。
融点	: データなし。
沸点(初留点)	: データなし。
引火点	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
爆発範囲(上限・下限)	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
比重	: データなし。
溶解度	: データなし。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温では安定
危険有害反応可能性	: 酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	: 日光、熱、混触危険物質との接触
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし。
皮膚腐食性・刺激性	: データなし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データなし。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: データなし。
生殖細胞変異原性	: データなし。
発がん性	: データなし。
生殖毒性	: データなし。
特定標的臓器・全身毒性	: データなし。
吸引性呼吸器有害性	: データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし。
残留性・分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
土壤中の移動性	: データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 可燃性溶剤と共にスクラバー及びアフターバーナーを具備した焼却炉で焼却する。 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 非該当

16. その他の情報

引用 原料試薬供給先から提供された MSDS 等

* 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
* 本データシートは情報を提供するものであって、記載内容を保証するものではありません。